



3学期が始まりました！ 今回のクラスでの最後の日々を大切に…

3学期が始まり数日たちました。12日には1、2年生はチャレンジテスト、3年生は実力テストがあったので、すっかり冬休み気分も消えてしまったかもしれません。3学期は実際に登校する日が約50日しかありません。3年生はもっと短いです。今のクラスの仲間と過ごす残り少ない日々(3年生にとっては義務教育の最後の日々になります…)を大切にしてほしいなと思います。

始業式の日にビブリオバトルの話をしました。参加した十八中学生の紹介本、菅 広文さんの「京大芸人」と、その続編の「京大少年」は十八中図書館にもあります。面白く、気軽に読める本なので興味ある人はぜひ読んでみてください。その2冊の中で記されている宇治原さんの勉強法のほんの一部を紹介します。



「子ども読書活動フォーラム」の
ビブリオバトルの様子

暗記の仕方…書く、声に出す、歩きまわる

* ただ教科書や参考書に書いてある内容を読むだけではなく、なんらかの動きをつけながら覚えると覚えやすくなるでしょう。新聞に載っていましたが、音楽系ユーチューバーのMELOGAPPAのさくまさんは、母親の足の裏を30分ぐらいマッサージで踏みながら、英単語を覚えるのを日課としていたそうです…(1月8日朝日新聞)。

宇治原さんがおとなになってからの勉強法

- ・ すぐに調べる…わからないことがあったら、すぐに辞書検索やグーグル検索で調べる。
- ・ 人にしゃべる…調べてわかったことを、周りの人にしゃべる(宇治原さんは、相方の菅さんによくしゃべっていたそうです)
- ・ わかっていることも自分で調べて確認する

* わからないことはほっとかずに、すぐに調べることが大事ということですね。それを人にしゃべると、よりしっかりと覚えられるというのは、なるほどなと思います。十八中でも自習や学習会の時に教え合う姿を見かけますが、それは相手にとっても自分自身にとっても意味のあることだというのがわかります。



私は「たくさん本を読む」というのを今年の目標の一つにしました。今年がみなさんにとって、それぞれの夢や目標の実現に向けて元気に歩いていける一年になることを願っています！

生徒会が豊中市こども政策室と交流をしました

「とよなか子育て応援団」
のシンボルマーク



12月19日に豊中市こども政策課の方が十八中に来られて、生徒会役員と交流の場を持ちました。豊中市では「子ども健やかな育み条例」を策定し、子どもの人権を守り、子どもたちの健やかな育ちを大切にしようとしています。今回の交流は、子ども自身の意見を聞いて、それを具体的な施策に生かそうというものです。子どもの居場所のこと、いじめのこと、18歳成人のこと、交通安全のことなど、いろいろなテーマで、生徒会役員のみなさんは中学生としての意見や感想を伝えていました。

佐木理人さん(毎日新聞論説委員、点字毎日記者)から、追加のお返事をいただきました

①白杖はどのように使っているのですか？

白杖は、多くの視覚障害者は、右手で持ちます。彫刻刀を持つように人差し指を伸ばして、そのほかの指でグリップを握ります。白杖をおへその前で構え、肩幅に振って歩きます。白杖を右に振った後に右足を前に出し、左に振った後に左足を前に出します。足を出す方の前方の安全を確認してから歩くスタイルです。街中の道など平坦な場所を歩く時には、スムーズに歩くために地面をたたくようにして進みます。駅のホームや階段の手前など段差があったり転落したりする危険があるような場所では、地面をスライドさせてしっかり安全を確かめながら歩きます。

②白杖が折れたことがありますか？

私は、一人で街を歩いている時に白い杖が折れたことはありません。ただ、視覚障害者の友人から走ってきた人や自転車に杖が挟まって何本も折れてしまったという話を聞いたことがあります。そのほかに、横断歩道を曲がってきた自動車のタイヤに杖を踏まれて折れてしまったという人もいます。全く見えない人は、白い杖がないと街を一人で歩くことができません。なので、人混みでは、慎重に杖を使い、中には万が一折れた時のために予備の杖をいつもかばんに入れている人もいます。

③物の場所を伝える場合、クロックポジションは大切になっていますか？

ものの場所などを教えてもらう時に、「クロックポジション」を用いた説明は、とても役に立ちます。これは、ものの場所や位置を時計の文字盤に見立てて説明する方法です。例えば、運動場に立っている目の見えない人に「(正面の)12時の方向に正門があり、3時の方向に体育館があり、9時の方向に職員室があります」のように伝えます。これは、目の前の様子を説明するだけでなく、テーブルの上に置かれたものの位置を「3時の位置にコップがあり、(手前の)6時の位置にお箸があり、9時の位置にお皿があります」と伝えたり、一つのお皿の中に盛り付けられた料理の位置を「12時の位置にサラダがあり、3時の位置にポテトがあり、9時の位置にお肉があります」のように伝えたりする時にも、とても便利です。